

【記入例】

<令和4年度版>

(1) 民生委員・児童委員功労

様式 1

被表彰候補者推薦書

推薦順位	第 1 位
------	-------

推薦社協名 ○○県社会福祉協議会

(ふりがな)	△△△ △△△		性別	1943年7月7日	
氏名	●● ●●		<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	生年月日	2022年4月1日 現在 78歳8ヶ月
所属・施設コード (4桁)	0100	現住所 (自宅)	○○県□□市△△町3丁目21番地		
表彰歴	表彰名(表彰者)	功労内容(表彰区分の名称)			被表彰年月日
	県知事表彰	民生委員・児童委員功労			2005年11月1日
	市長表彰(指定都市のみ)				
	県社協会長表彰	民生委員・児童委員功労			2003年10月15日
	県社会福祉大会会長表彰				
民生委員・児童委員としての経歴	民生委員・児童委員在職期間 ※本表彰区分の対象となる在職期間は、 4月1日現在で通算15年以上			民生委員・児童委員としての役歴(民協等)	
	委嘱年月日(西暦)	退任年月日(西暦)	在職期間	就任年月日	役職名
	1994年12月1日	2022年4月1日	27年4ヶ月	2006年2月1日	□□市第一地区民生委員・児童委員協議会副会
			0年0ヶ月	2008年4月1日	□□市第一地区民生委員・児童委員協議会理事
			0年0ヶ月		
			0年0ヶ月		
			0年0ヶ月		
			0年0ヶ月		
			0年0ヶ月	現在関係する公私の 団体・機関名及び職名及び職名(社協等)	
			0年0ヶ月	団体・機関名	職名
		0年0ヶ月	□□市第一地区民生委員・児童委員協議会	副会長	
		(合計)	27年4ヶ月		
功績概要	※ 1. に加え、2. 3. にかかると功績についても必ずご記載ください。 1. 民生委員・児童委員としての活動の実績、民児協での組織発展の功績 一人暮らし高齢者の生活支援に尽力し、ふれあいいきいきサロンの運営に取り組み、孤立しがちな高齢者と地域社会とのつながりに役立っている。 2006年に、所属する□□市第一地区民児協の副会長となり、民生委員同士の十分な意思疎通が図れるよう、定期的な例会開催など組織運営に取り組んでいる。また、2008年に就任した□□市民児協理事として、市全体のふれあいいきいきサロンの活性化や近隣市の民児協との交流を推進している。 2. 行政や社協の福祉関係の委員会や検討会への参画等、地域や県域での福祉推進における功績 市高齢者保健福祉計画策定委員会委員(□□市設置/●年●月～●年●月)として、担当地域の高齢者の現状を報告するなど民生委員の立場から積極的に意見を述べ、計画の充実に貢献した。 その他、市障害者福祉計画策定委員会(□□市設置/●年●月～●年●月)、市青少年健全育成協議会委員(□□市設置/●年●月～現在)などを歴任。 3. 地域に根ざした福祉関係の活動や事業への協力等、民児協以外の活動に関する功績 ●年から、一人暮らし高齢者に週1回昼食の弁当を配食するボランティアグループ「☆☆の会」に参加し、高齢者の健康な食生活を支援している。また、年2回開催する会食型の食事会では、高齢者やボランティア同士が交流し、地域の間人関係の構築につながっている。				
特記事項	※在職期間の要件を満たしていない者の推薦理由等				

本推薦書により取得した個人情報、本表彰事業以外の目的には使用いたしません。

【記 入 例】

<令和4年度版>

(2) 社会福祉法人・福祉施設功労

様式 2

被表彰候補者推薦書

推薦順位	第 1 位
------	-------

推薦社協名 ○○県社会福祉協議会

(ふりがな)	△△△ △△△		性別	1966年10月1日		
氏名	●● ●●		<input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女	生年月日	2022年4月1日 現在 55歳6ヶ月	
所属・施設コード (4桁)	0904	施設種別	保育所		職員 公私区分 <input type="checkbox"/> 公 <input checked="" type="checkbox"/> 私	
名簿に掲載する ①法人名	社会福祉法人 □□□会		現住所 (自宅)	○○県□□市△△町3丁目21番地		
②施設・事業所名 ※法人役職員とする 場合は記入不要	△△△保育園					
③役職名	主任保育士					
表彰 歴	表彰名(表彰者)		功労内容(表彰区分の名称)		被表彰年月日	
	県知事表彰		社会福祉施設功労		2009年11月1日	
	市長表彰(指定都市のみ)					
	県社協会長表彰					
	県社会福祉大会会長表彰		福祉施設職員功労		2007年10月10日	
	○○県保育士会会長表彰		20年勤続功労表彰		2007/xx/xx	
社会 福祉 施設 の 役 職 員 と し て の 経 歴 概 要	本表彰区分の対象となる在職期間(通算)		33年 0ヶ月 <input type="checkbox"/> 役員として4月1日現在、通算15年以上 <input checked="" type="checkbox"/> 職員として4月1日現在、通算20年以上			
	就任(職)年月日 (西暦)	退任(職)年月日 (西暦)	在職期間	施設種別等	施設・事業所名	役職名
	1987/4/1	1992/3/31	5年0ヶ月	保育所	○○○保育園	保育士
	1992/4/1	1994/3/31	2年0ヶ月	保育所	□□□保育園	保育士
	1996/4/1	2002/3/31	6年0ヶ月	保育所	△△△保育園	保育士
	2002/4/1	2022/4/1	20年0ヶ月	保育所	△△△保育園	主任保育士
			0年0ヶ月	—		
			0年0ヶ月	—		
			0年0ヶ月	—		
			0年0ヶ月	—		
	(合計)	33年0ヶ月	※1 法人役員としての推薦の場合は、役職名のみ記入 ※2 現職の法人以外が経営する施設・事業所は「備考」欄に法人名を記入			
功 績 概 要	※ 1. に加え、2. 3. にかかる功績についても必ずご記載ください。					
	1. 法人・施設の発展、サービスの向上等に果たした功績 法人が経営する3つの保育所に保育士として勤務し、2002年に主任保育士となり現在に至っている。2003年から、法人内に設置するリスクマネジメント委員会委員として、保育所内の事故防止対策を立案し、安全な保育サービスの提供に果たした役割は大きい。県や県保育協議会等が開催する研修会にも積極的に参加し、その内容を法人内の研修会等で発表したり、施設内研修の講師を務めるなど、保育内容の充実に取り組んでいる。					
	2. 所属法人・施設以外の行政や社協の福祉関係の委員会や検討会への参画等、地域や県域での福祉推進における 2006年から年1回、△△町社協が主催する子育てサロンに、「子どもとのかかわり」等のテーマで講師として出向している。また、町からの要請で地域に5つある子育てサークルに、年2回ずつ参加して、保護者からの相談に応じている。					
	3. 種別組織での役職、また種別協研修会での研究発表、地域の福祉に根ざした取り組みや事業への参画等、当該法人・施設以外の活動への参加等の功績 2004年4月1日～現在 県保育士会調査研究部会委員 ○2008年度には、事故予防をテーマとした調査研究に取り組み、多くの事例を収集・分析した。それらの調査結果を活用し県保育士会「事故予防マニュアル」の作成に貢献した。					
特 記 事 項	※在職期間の要件を満たしていない者の推薦理由等					

本推薦書により取得した個人情報、本表彰事業以外の目的には使用いたしません。

【記 入 例】

<令和4年度版>

(3) 社会福祉協議会・民間社会福祉団体功労

様式 3

被表彰候補者推薦書

推薦順位	第 1 位
------	-------

推薦社協名 ○○県社会福祉協議会

(ふりがな)	△△△ △△△		性別	生年月日	1962年8月8日
氏名	●● ●●		<input checked="" type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	生年月日	2022年4月1日 現在 59歳7ヶ月
所属・施設コード (4桁)	0201	施設種別	社会福祉協議会役員		
名簿に掲載する ①社協・団体名	□□市社会福祉協議会		現住所 (自宅)	○○県□□市△△町3丁目21番地	
②役職名	課長				
表彰歴	表彰名(表彰者)	功労内容(表彰区分の名称)		被表彰年月日	
	県知事表彰				
	市長表彰(指定都市のみ)				
	県社協会長表彰	社会福祉協議会役職員功労		2007年11月1日	
	県社会福祉大会会長表彰				
	○○県老人福祉施設協議会会長表彰	20年勤続功労表彰		2007年11月1日	
社協・民間団体等の役職員としての経歴概要	本表彰区分の対象となる在職期間(通算)		35年 0ヶ月	<input type="checkbox"/> 役員として4月1日現在、通算15年以上 <input checked="" type="checkbox"/> 職員として4月1日現在、通算20年以上	
	就任(職)年月日(西暦)	退任(職)年月日(西暦)	在職期間	社協・団体名	役職名
	1987/4/1	1999/3/31	12年0ヶ月	○○町社会福祉協議会	主事
	1999/4/1	2002/3/31	3年0ヶ月	○○町社会福祉協議会	主任
	2002/4/1	2009/3/31	7年0ヶ月	○○町社会福祉協議会	主査
	2009/4/1	2011/3/31	2年0ヶ月	□□市社会福祉協議会 (○○町は合併により□□市となる)	課長
	2011/4/1	2022/4/1	11年0ヶ月	□□市社会福祉協議会	課長
			0年0ヶ月		
			0年0ヶ月		
			0年0ヶ月		
	(合計)	35年0ヶ月			
功績概要	※ 1. に加え、2. 3. にかかると功績についても必ずご記載ください。				
	<p>1. 所属する社協(民間団体の場合はその団体)での担当職務における功績 2009年4月1日、○○町は▲▲町・■●町と合併し、□□市となった。候補者は3町社協の合併にあたり、2007年度より合併協議の担当者として、合併に伴う様々な課題の解決と円滑な移行に尽力し、特に○○町で実施していた一人暮らし高齢者への配食サービス事業が合併を理由に廃止されないよう、行政との折衝にあたり中心的役割を担い予算獲得を実現した。また、新市全域における実施体制を整備した。 新市社協発足後も課長として、一人暮らし高齢者や高齢者世帯が多い地域のニーズに対応し、地区社協の設置とその活性化を図りながら、配食サービスやサロンの開催などの事業の充実に尽力し、実施箇所数の増加に大きく貢献した。</p> <p>2. 所属社協・団体以外の福祉関係の委員会や検討会への参画等、地域や県域での福祉推進における功績 (1) 2008年4月1日～2009年3月31日 □□市地域福祉計画策定委員会(□□市が設置)副委員長 住民ニーズを把握する社協の代表として、地域福祉計画と地域福祉活動計画の一体的策定、推進に貢献した。 (2) 2006年4月1日～2008年3月31日 □□市防災対策協議会(□□市が設置)委員 市の防災計画策定や、要援助者に対する支援の在り方について、社協の立場から提言した。</p> <p>3. 社協・団体の役職員の立場を離れて取り組む福祉関係の活動・事業に関する功績 候補者●●氏の居住地では、若い世代の家族の転入が多い新興住宅地で、新しい地域での子育てに不安を抱いている親が多いことをきっかけに、2006年度より自治活動の一環として子育てサロンの開催を始めた。●●氏も活動に参加し、月1回の開催であるが、民生委員・児童委員や社協と連携してサロンを運営することで、必要な情報の提供や、援助を必要とする親子を関係機関につなげるなどの具体的な成果が現れている。</p>				
特記事項	※在職期間の要件を満たしていない者で、特に功績抜群である者の推薦理由等				

本推薦書により取得した個人情報、本表彰事業以外の目的には使用いたしません。
法人格を有しない民間団体の推薦の場合は、当該団体の概要がわかる資料として、
団体のパンフレット等、組織規程、事業報告、決算書を添付のこと。

【記入例】

<令和4年度版>

(4) 永年勤続功労

様式 4

被表彰候補者推薦書

名簿記載順位	第 1 位
--------	-------

推薦社協名 ○○県社会福祉協議会

(ふりがな)	△△△ △△△		性別	生年 月日	1966年5月5日
氏名	●● ●●		<input type="checkbox"/> 男 <input checked="" type="checkbox"/> 女		
所属・施設コード (4桁)	0602	施設種別	特別養護老人ホーム		職員 公私区分
※民生委員・児童委員以外の方は以下ご記入ください 名簿に掲載する ①法人名 ※公立の場合は運営元の市区町村名		社会福祉法人 ○○会	現住所 (自宅)	○○県□□市△△町3丁目21番地	
②施設・事業所名		第三特別養護老人ホーム			
③役職名		主任介護職員			
表彰歴	表彰名(表彰者)	功労内容(表彰区分の名称)			被表彰年月日
		○○県老人福祉施設協議会会長表彰			2021年9月26日
社会福祉事業における経歴概要	勤続年数 ※4月1日現在、通算30年以上		32年 0ヶ月		
	就任(職)年月日 (西暦)	退任(職)年月日 (西暦)	在職期間	法人名 ※公立の場合は市区町村名	施設・事業所名
	1990/4/1	1993/3/31	3年0ヶ月	(社福)○○会	第一養護老人ホーム
	1993/4/1	2000/3/31	7年0ヶ月	(社福)○○会	第二養護老人ホーム
	2000/4/1	2015/3/31	15年0ヶ月	(社福)○○会	第三養護老人ホーム
	2015/4/1	2022/4/1	7年0ヶ月	(社福)○○会	第三養護老人ホーム
			0年0ヶ月		
			0年0ヶ月		
			0年0ヶ月		
			0年0ヶ月		
			0年0ヶ月		
			0年0ヶ月		
			0年0ヶ月		
	(合計)	32年0ヶ月	(※1 法人役員としての推薦の場合は、役職名のみ記入) (※2 現職の法人以外が経営する施設・事業所は「備考」欄に法人名を記入)		
特記事項	※在職期間の要件を満たしていない者の推薦理由等				

本推薦書により取得した個人情報、本表彰事業以外の目的には使用いたしません。

【記入例】

<令和4年度版>

(5) 社会福祉協議会優良活動表彰

様式 5

被表彰候補推薦書

推薦社協名 ○○県社会福祉協議会

(ふりがな)	○○ししかいふくしきょうぎかい		(ふりがな)	△△△ △△△	
社協名	○○市社会福祉協議会		会長氏名	●● ●●	
所在地	△△県□□市●●		会員数	個人 11,111人 団体等 100団体	社協の活動対象地域の人口・世帯数 55,555人 25,000世帯
社協の概要	社協設立年月日	1988年 5月 1日	※会員の対象となっている者にチェック		
	法人格取得年月日	1988年 8月 1日	<input checked="" type="checkbox"/> 住民会員 <input checked="" type="checkbox"/> 社会福祉施設(保育所除く)[施設数: 9] <input checked="" type="checkbox"/> 保育所 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア団体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体 <input type="checkbox"/> 企業等		
	前年度の主な活動の概要(推薦案件を除く)	①地区福祉推進委員会の設置と推進 ②福祉教育の推進 ③ボランティアセンターの運営とボランティア講座の実施 ④給食サービスの実施 ⑤住民主体のサロン活動の推進(高齢者/障害者/子育て) ⑥介護保険事業(通所介護事業、介護予防通所介護事業) 他			
前年度の収支状況	収入 130,000 千円 支出 128,000 千円 (うち会費収入 3,000 千円)				
推薦案件(活動の名称)	定年退職者の地域生活支援と活動の拠点・仲間づくり				
推薦理由 ※都道府県・指定都市社協としての推薦の理由(評価とも)	会社を離れた定年退職者が、地域の中でどのように居場所づくりをしていくか、地域社会としてどのような支援が必要かといったことが重要な問題となっている。社協として地域福祉推進の立場から、定年退職者の生きがいくくりと能力の活用をめざして、できるだけ低予算で新たな事業を開拓している。その活動について県社協主催の会議において事例発表を依頼したところ好評を博し、他市町村社協においても同様の事業を実施するところが見られ、県内社協への波及効果が高く、事業効果も認められるため、今回の表彰の推薦とするものである。				
推薦案件の概要(関連資料を添付のこと)	①当該活動の実施経過 会社を離れ地域社会に活動の拠点を移す定年退職者の増加が予想されるため、2012年度より、市社協としてどう対応を図るべきか、プロジェクトチームを設けて検討を始めた。その結果、2013年度から3年計画で、定年退職者が地域社会で居場所を作り、得意分野を発揮して地域福祉に関わってもらえるしくみづくりに取り組むこととなった。1年目は、入門編として、市社協ボランティアセンターが主となってボランティア講座を実施し、参加者の仲間づくりを進めた。2年目は講座参加者のサークルを立ち上げ、市社協主催のいろいろなイベントに協力を依頼した。3年目は、メンバーの意欲や能力を生かした自主的な活動を企画・実施してもらえるよう、市社協として側面支援を行った。3年計画を終えて、2016年度は、市社協主催のボランティア講座やイベントを共催するとともに、地域の仲間を増やすべく、無理せず地道な活動を展開している。 ②活動の概要(事業実施情况等) ア) 定年退職者を対象としたボランティア講座の開催 2013年度 5回連続講座 参加者30名/2014年度 4回連続講座 35名/2015年度 4回連続講座 40名 イ) 定年退職者のサークル『スタート』活動実績 2013年度 新規事業としてスタート 参加者5名 2014年度 市社協主催のボランティアまつり・災害VC立ち上げ訓練等のイベントに協力 参加者120名 2015年度 定年退職者のサロン活動の開始 参加者40名 市社協主催のイベント(ボランティアまつり等)の共催 2016年度 定年退職者のサロン活動の充実 参加者50名 ③事業実施の効果(この3年間の利用実績、社協に対する理解の広がり、新たな活動への展開等) サロン活動内容の紹介を社協広報誌に掲載することにより、福祉関係者はもとより広く住民に知られる存在となり、新たにサロン立ち上げを検討する地区も現れ始めている。 こうした取り組みから住民による主体的なサロン活動の取り組みが促されるようになっている。 ④住民、マスコミ、関係団体等からの評価 定年退職者の地域生活支援の取り組みについては、住民懇談会でその重要性が議論されるなど大変評価されている。市社協は、以前から定年退職者の活動に積極的に取り組んでおり、福祉関係施設・NPO等との連携を図りながら活動を支援しており、その評価も高い。住民の評価としても、「同じ地区に住んでいても話す機会がなかった人と交流ができた」等、地域の活性化にも繋がっている。				

本推薦書により取得した個人情報、本表彰事業以外の目的には使用いたしません。

【参考資料】

- (1) 今年度予算書、事業計画書を添付のこと。
- (2) 推薦案件に関する広報資料、活動内容・活動実績を掲載した関係資料を添付のこと。